

元気いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱい



小 野 小 だ よ り

諫早市立小野小学校

No.3 令和7年5月28日

校長 宮崎 康昭

全力を出しきった運動会

～応援いただき、ありがとうございました～

前日の雨で開催が心配された運動会は、曇りにもち直した天気のもと開催されました。子どもたちは、元気いっぱいにのびのびとがんばり、テーマのように『みんなで優勝めざして最後まで全力を出しきる』運動会をつくり上げることができました。

5月連休明けから本格的な練習が始まり、それぞれの学年で子ども、教師がひとつになって真剣に取り組んだ結果、それぞれの種目でいきいきとした成長の姿を披露することができました。

また、運動会を支えた話合いや分担した係において、5、6年生の率先した動きは素晴らしく、まさに高学年らしさを感じたところでした。

来賓、保護者、地域の皆様には、あたたかい応援やご協力をいただき、ありがとうございました。あわせて、育友会の皆様には準備、駐車場案内等に関わっていただきました。感謝申し上げます。



優勝めざして、一致団結



個人走



2・3年 ココロ、おどるほうで



4・5年 横綱引き



1年 チェッコリ玉入れ



きささげの花も見守っていました

赤白組の解団式をしました

・6年生がリーダーとなり、それぞれの組をまとめ素晴らしいチームワークを発揮することができました。

優勝した赤組、準優勝の白組、どちらも感謝の気持ちを6年生に伝えていました。



赤組



白組

※ 裏面もご覧ください。

主な行事予定

6 月

2日(月) 弁当の日 (給食を止めています)
16日(月) 長崎っ子の心を見つめる教育週間
~22(日)
20日(金) 1~6年生 授業参観
学級懇談会・育友会費徴収

(その他の行事のお知らせについては、
学年・学級だより等でご確認ください)

来校予定日

○スクールカウンセラー
6/6日(金)、27日(金)
7/11日(金)

○心の相談員
6/3日(火)、5日(木)、10日(火)、12日(木)、
17日(火)、24日(火)、26日(木)

○OALT
6/5日(木) 12日(木) 19日(木) 26日(木)

とこしえの 学び舎から

ある日の出会い

~小野小で出会った俳優さん~

今から10年ほど前の話です。私が教頭として小野小に勤めていた時のことです。
子どもたちが下校しようとしたときに、小野小の敷地内に見慣れない車が停まっていた。
どなたの車だろうか、用件は何か尋ねようと私は、辺りを探しておりました。
すると、宗方神社の方から何名の人たちが話をしながら学校の方へ戻ってきました。
そして、その中の一人の男性が笑顔で自分から話しかけてこられたのです。
「いやあ、すみません。この辺りのことがよく分からなくてそのまま学校の敷地に入っ
てしまい、車をちょっと停めさせてもらって神社の停める場所を探してましたあ。」
この年配の方は誰だ? とよく顔を見ましたら、俳優の役所広司さんでした。
「今、映画の仕事で回っているのですよ。」
突然、小野小にビッグな俳優さん! たいへん驚いたのは言うまでもありません。

詳しく聞くと、小説『赤とんぼ 1945年 桂子の日記』(レイコ・クルック著) 写真↓
について映画化しようと諫早を回っているとのことでした。

この小説は、著者が生まれ故郷の小野島で10歳のときに終戦を迎えた体験をもとにして
書かれたものです。

小野島には戦時中、飛行場が造られ、航空機乗員養成場として練習機
が飛び交っていたといえます。実用機と区別するために、オレンジ色
に塗られていたことから練習機は「赤とんぼ」といわれていました。
戦争末期には特攻要員として飛び立ち、若者の半数が戦死したという
話が残っています。(とによん 十二・四 公園ガイドブックより)



役所さんは、ふるさと諫早にゆかりのある小説をもとに映画をつくら
うとしてロケ地を探されていたのでした。(いわゆる、ロケハンですね。)

その後、この映画の企画は、残念ながら都合により実現しなかったと聞きました。
(R5.12.2 諫早市市民栄誉賞トークセッションより)

しかし、小説と諫早の歴史や場所をつないで平和の尊さを発信していこうと構え
ておられた役所さんの思いに、私はとても共感したことでした。

余談ですが、映画化が実現していたら宗方神社をはじめ、小野のロケ地が全国的
に有名になっていたでしょうね。

カンヌ国際映画祭で最優秀男優賞を受賞された世界的な名優である役所さん。
とても気さくな方でした。まさか、小野小玄関前で出会うとは・・・